

# 県政ネットワーク

平成 23 年 10 月号

県政ネットワーク発行者  
発行人 田中ただみつ  
所在地 〒633-2166  
宇陀市大宇陀  
迫間 5 1 - 3  
電話 0745-83-1188  
FAX 0745-83-3272

## 災害復興がんばります

国中憲治県議会議長、中野雅史総務警察  
委員長、田中惟允建設委員長、大庭孝之  
県土木部長は、10月2日へりからの視  
察を行った。川上村、天川村、十津川村、  
野迫川村の山々は、報道されていないと  
ころにも崩壊の爪痕が多く、痛ましい。



写真は十津川で生じた土砂ダム下流の左側が崩れ、川の流れをせき止めた。せき止めている部分の中がどのようなになっているのかわからないから、土石流が発生する危険性が大きく、下流域の避難が必要だ。素人の目で考えると、崩落によって生じた谷間の土を取り除くことは、至難の業だと思う。



山の崩壊は、あちこちで発生し、急峻な山の頂上からざっくりと切り取られている。その切り取られている山肌の茶色が巾のある一本の線のように見えた。尋常でなくずれ方だし、川に落ちた土砂は流れをせき止めたり、流れた土が川底をあげている。

崩落が起きた時の災害をはじめ、これからの2次災害をどのように防ぐかが大きな課題となってくる。



搭乗する国中議長（田中撮影）

## 一災害救助法適用一 激甚災害地域指定

災害救助法の適用は、発生直後に発せられ救難に対応された。危険地域の避難呼びかけ、避難所生活続く十津川では、住んでいる集落への進入路がふさがれ、自宅が被災から免れていても自宅での生活ができない地域があり、しばらく避難所や仮設住宅での生活をせざるを得ない状況にある。

今回の台風被害の大きいことから、被害総額の査定を見るまでもなく、奈良県全体を激甚災害地域としての指定を国土交通省から受けることになった。激甚災害の指定を受けられることによって、災害復旧の費用負担のほとんどが国に頼れることになり、県や市町村は財政を軽くすることになるので、早期の指定を受けられることが決まりホッとしている。

県の住宅課では、**仮設住宅**の建設をさっそく着手し、10月27日五條市大塔町大塔郷土館駐車場での仮設住宅を完成させ、管理運営する五條市に引き渡しを行った。30日に説明会を行い随時入居が始まります。

奈良県は、このほか、五條市岡口、野迫川村北股、十津川村沼田原、十津川村谷瀬、十津川村湯之原、十津川村平谷に仮設住宅を建設中です。又、入居に際して、若干の家電必需品等を提供する予定です。

## へき地教育研究大会

10月25日下北山中学校で「第55回奈良県へき地教育研究大会」に参加した。午前中は小学校、中学校、PTAの3分科会に分かれ、研究発表、課題の提起や、意見交換、指導助言等が行われた。全体会では、パネルディスカッション、功労者表彰が行われた。



# 県議会報告

九月二十二日開会された県議会の最大のテーマは、台風十二号による被害についてであった。

長雨による台風の県内の被害は大きく、宇陀では特に御杖村、曾爾村に甚大な被害をもたらした。

御杖村の三峰山（ミウネサン）中腹の土砂崩壊の現場に向かう道路が寸断されているため、神末の旅行村からいままお徒歩で現場へ行かざるを得ない状況にあります。途中の道路はいたみ、橋が二箇所で落ちています。役場の話によると、現場まで徒歩で二時間以上かかるとの報告を受けました。三峰山は霧氷や樹氷がきれいなことでも有名で、冬場、榛原駅からの臨時

# 9月議会開催

バス便が運行しているほどです。御杖村の観光にも影響必至の状況です。

## 県議会意見書を政府に提出

議会開催日、初日に「台風十二号に夜災害対策に関する意見書」について、冒頭提案され、県議会の全会一致を持って、採択された。特に、

- 1、土砂ダムの早期解消
- 2、命の道である国道の復旧復興
- 3、被災者生活再建支援
- 4、災害復旧事業の早期採択
- 5、早期の予算措置
- 6、災害復旧に係る特別交付税の重点配分
- 7、被災地域の中小企業の金融支援
- 8、総合的治山治水対策
- 9、大規模土砂災害に強い道路や河川整備を、

## 決算審査特別委員会

九月議会が終了し、閉会されたあと決算審査特別委員会が開かれ平成二十二年会計の決算状況、行政の全般にわたる質問が行われた。

決算報告は、九月議会に提案されたが、実質審査は閉会中のため、本会議への

報告並びに承認手続きは、十二月議会に、委員長から審査状況の報告の後、承認するかどうか決められる。

## 有害鳥獣被害対策

田中ただみつ議員は、前号で掲載した奈良、和歌山、三重の議会交流会に關し有害鳥獣について決算委員会でも取り上げ、三県の取り組みとして奈良県の取り組み強化を促した。

その他、決算委員会で取り上げたことは、総務部での三県の防災訓練、林野火災の消火訓練は協定によって実行されていることの確認。観光に関して「古事記・日本書紀・万葉集」をテーマとして取り上げているが、宇陀も観光地域の対象として重要視されたい。又、観光電動自転車の貸出し設置は意味があったので今後も充実されたい。産業政策については、TPPに關し、林業の今日の状況の原因は、輸出産業界の振興策の見返りとして木材の輸入自由化があった。そのあおりで林業界は大打撃を受けた。同じ過ちを再び起こしてはならない。農業の荒廃は国土の保全をも崩壊させることにつながり、TPPへの参加について反対する姿勢を明確に打ち出した。

## 議会改革推進会議

九月二十二日、議会改革推進会議が開催された。この日の委員会までに、審議の対象とする項目は、各会派より提出してあった。委員会として、どの項目を審議対象にするか、どの程度の期間内に結論を見出すようにするかなど、仕分け作業を行い、委員間のフリートークによって、積極的な議論が行われた。審議項目によっては、先進他府県の事例をも調査し、改革を推進する方針を決めた。

下の写真は決算審査特別委員会



皆様の声を議会に反映するため、ご意見をお聞かせ下さい。  
電話 〇七四五八三二一八八  
田中ただみつ事務所

